

電動化技術

PHEVをコアとした電動車開発の取り組み

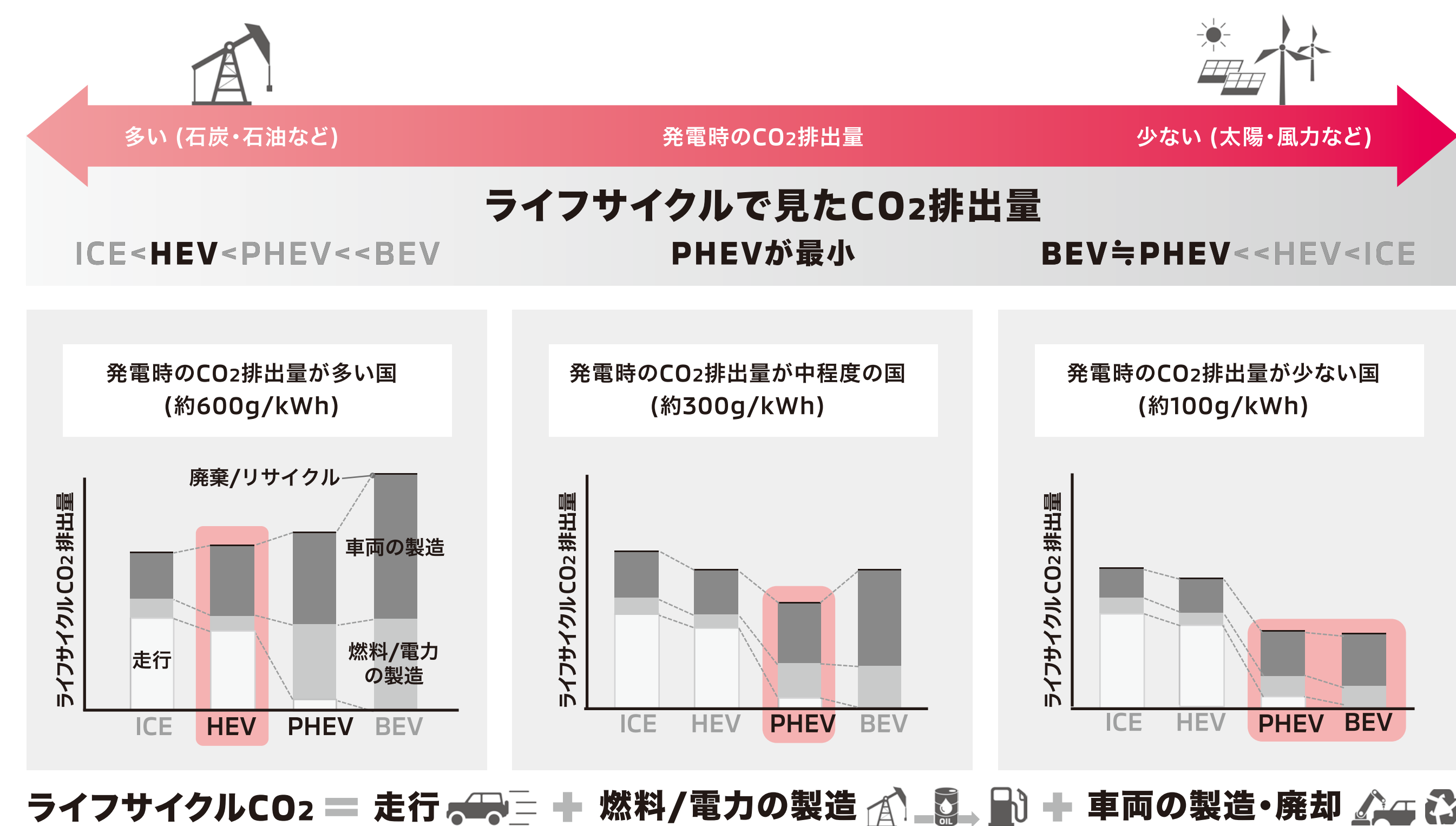


三菱自動車の電動化推進の考え方

2050年カーボンニュートラルの実現を目指します

ライフサイクルでのCO2排出量低減
走行中に加えて、燃料/電力の製造、クルマの製造、廃却まで含めたLCA(Life cycle Assessment)でCO2排出量低減に取り組みます

PHEVをコア技術とした電動化を推進
LCAでCO2排出量低減に有効なPHEVを電動化のコア技術とし地域事情やお客様ニーズに応じて、PHEV技術を活用したHEVやBEVを提供していきます

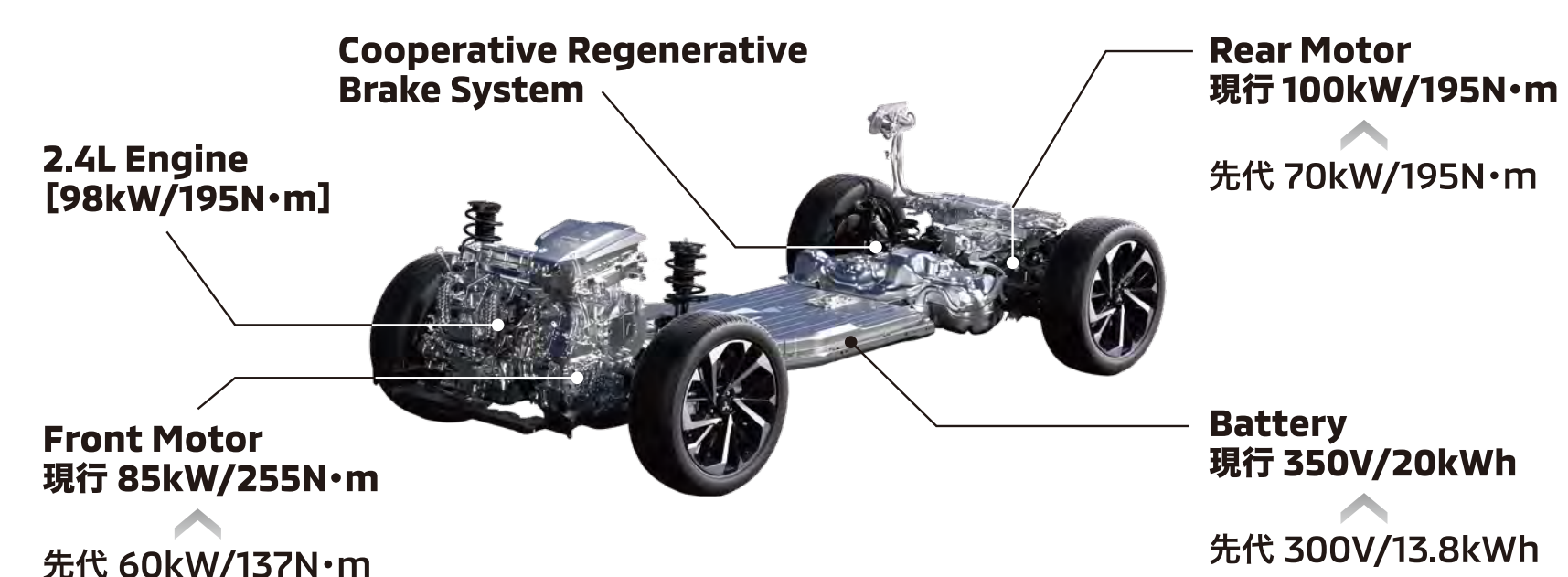


アウトランダーPHEVを支える電動化技術

より力強く滑らかなEVらしい走りを実現するため、モーター、バッテリー技術を進化

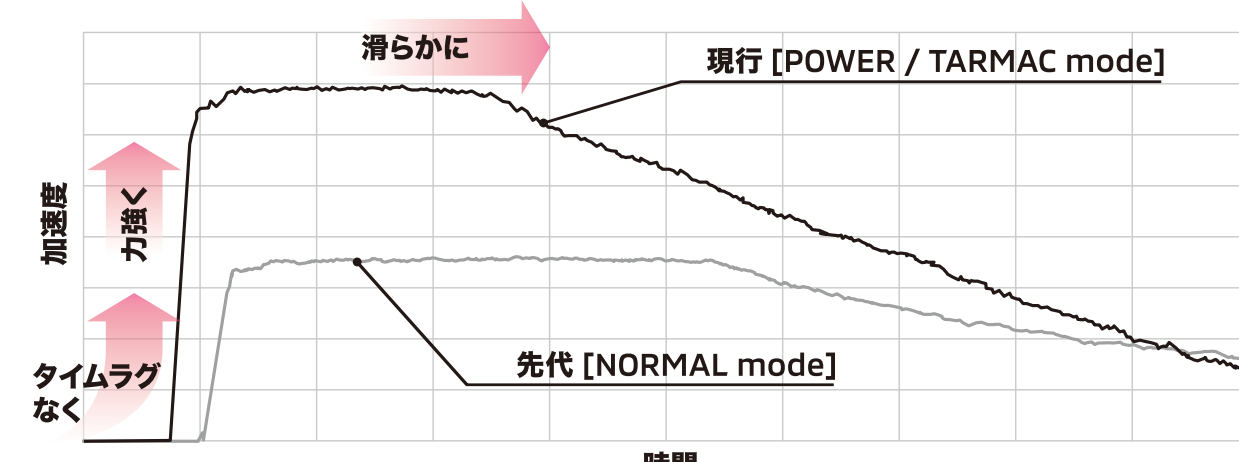
PHEVシステム

モーターの高出力化、電池容量の拡大によりEVらしい走りを強化



加速性能

モータードライブならではの滑らかな走り、レスポンスの良さ
力強い加速をモーター制御の改良により実現



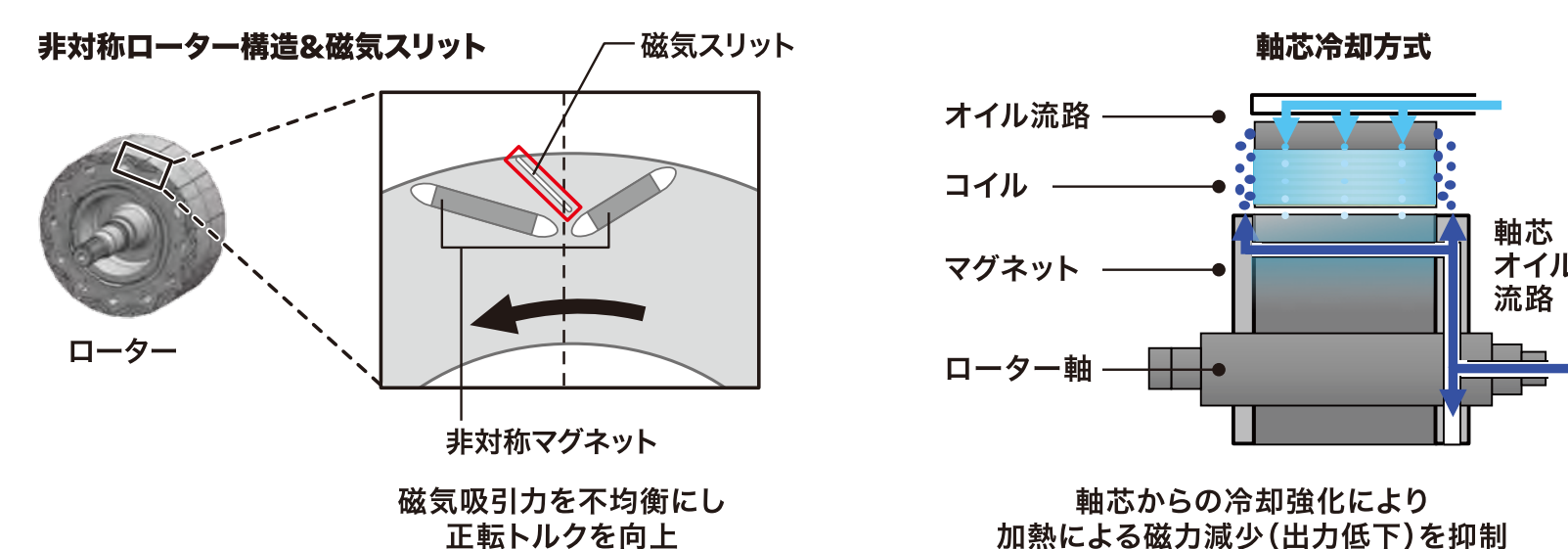
EV走行距離・総航続距離

EV航続距離は50%アップ ハイブリッド走行を含めた総航続距離は、約1,000km^{*}を達成



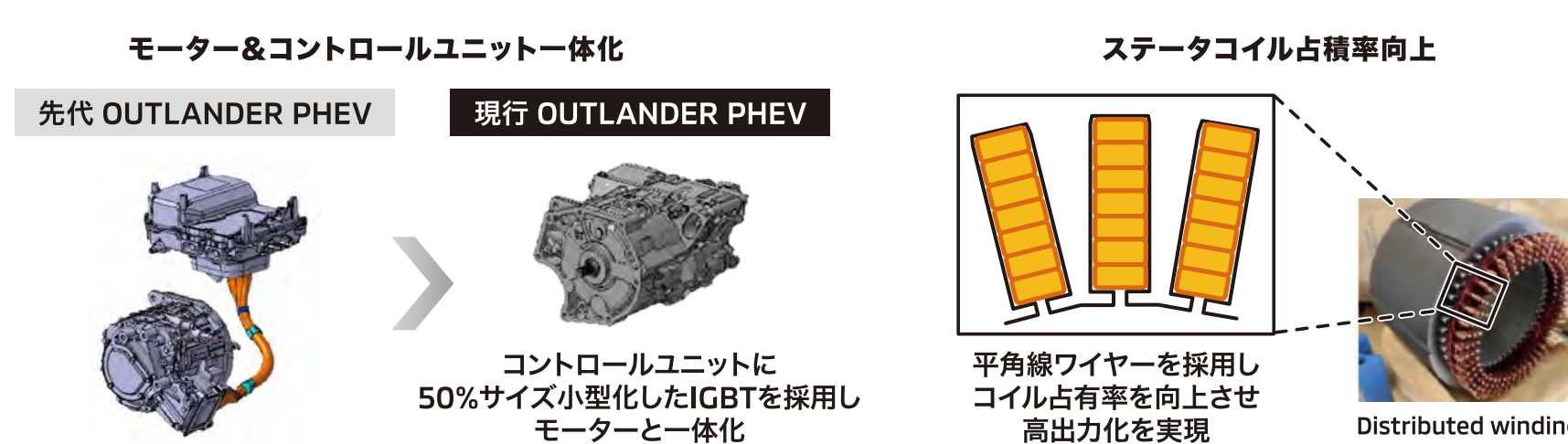
Front Motor

非対称ローター構造、軸芯冷却方法、650V昇圧システムの採用により、最高出力、最大トルクを向上



Rear Motor

モーターとコントロールユニットの一体化、ステータコイルの占積率向上により、高出力化と小型化を実現



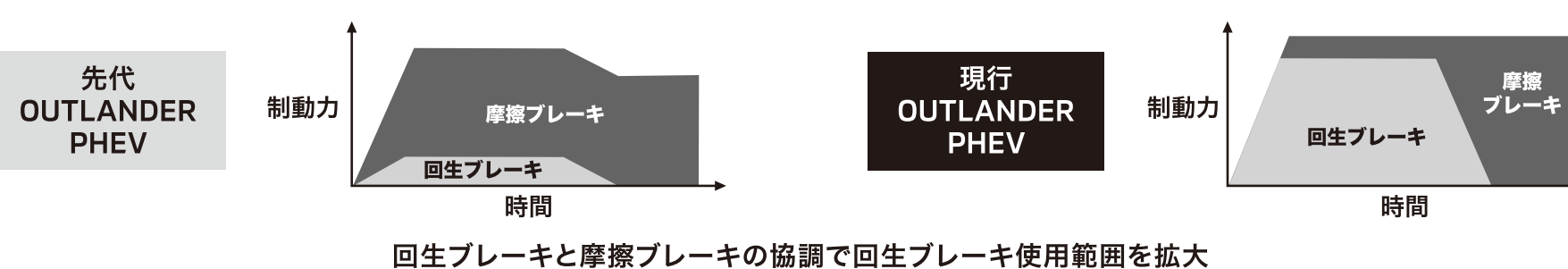
Battery

アライアンスで開発した電池セルを採用
電池セル数を増やし高電圧化、電池パックエネルギー密度の向上により大容量化、小型化を実現



回生制御

ブレーキブースターを負圧式から電動式へ変更
ASCハイドロロックユニットと組合せることで回生ブレーキを最大限に活用



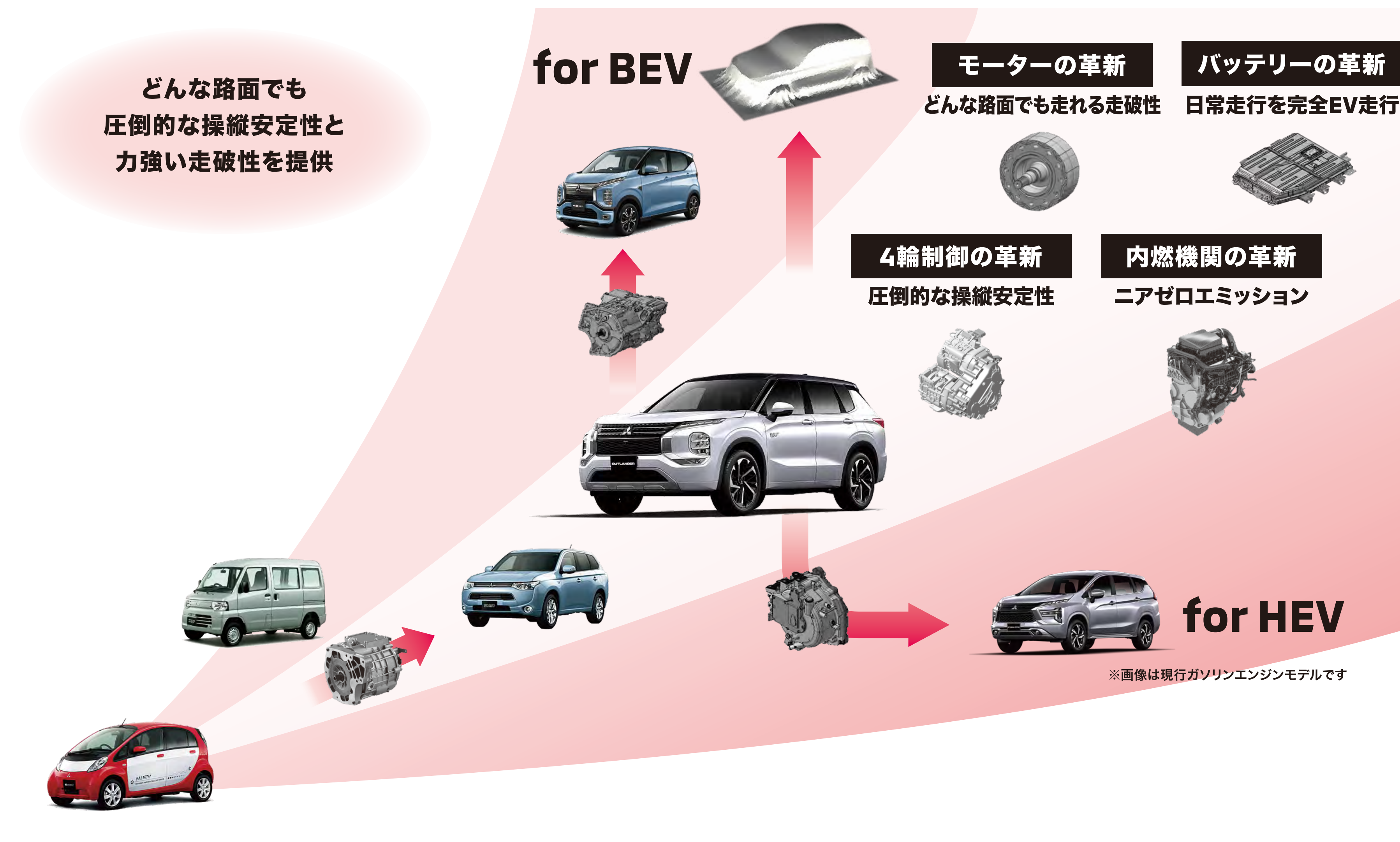
TOPIC 三菱自動車が目指す電動化

電動化へのこだわり

環境性能、EV性能に加えて、三菱自動車らしい
操縦安定性と走破性にこだわったPHEV技術を
強化していきます。



PHEVをコア技術として“三菱らしさ”を進化



強化する PHEV 技術

- ◆ 内燃機関
大気並みにクリーンな排気性能、
カーボンニュートラル燃料への対応
- ◆ モーター・ジェネレータ
三菱らしい走破性を実現する連続駆動力の向上
どのような路面でも走行できる駆動力制御の高応答&高精度化
- ◆ バッテリー
EVらしい走りを向上させるバッテリーの高出力&高容量化
リユースやリサイクルの促進で環境へ貢献
- ◆ PHEV制御
あらゆる環境下でも走り続けられるパワートレイン統合制御技術の高度化
熱&エネルギーマネジメントによるシステムの高効率化

